

アジアの子供の食中毒死(年間5万人)を防ぎたい

「食中毒からアジアの子供を守る会」を支援

12月下旬、日の出医療福祉グループ顧問・山庄司 志朗が設立、同グループが支援

- 【概要】
- ・日の出医療福祉グループ顧問・山庄司 志朗(やましようじ しろう)は、12月18日(水)神戸市にて特定非営利活動法人「食中毒からアジアの子供を守る会」の認証を受け、その後2週間以内に、正式に登記・設立します。
 - ・同法人は、オリジナルの食中毒防止絵本を使用し、日本の衛生管理・栄養指導をアジアの保育園・幼稚園・小学校に普及させていきます。(※絵本は、日の出医療福祉グループの保育士・栄養士17名が作成)
 - ・日の出医療福祉グループは、絵本制作やホームページ作成など、同法人の活動を支援しています。

ばいきん ばいばい
げんきな からだ



あやんで 食べやう ごはんを たべるときは には
きつて しょうじく ても きれいな



「ほら、でも あいも びっけびかだよ」



【背景・経緯】

- ・東南アジアは、世界中で食中毒が最も多い地域、5歳未満の子供が年間5万人死亡(※1)
- ・その原因は、不衛生な環境と食中毒防止に対する無知、衛生管理と栄養指導の知識普及により改善可能
- ・代表の山庄司志朗氏は、静岡理科大学在籍時にバングラディッシュ、退職後にタイ・ミャンマーを現地調査し、その劣悪な衛生状態を知って早急に改善すべきと考え、今回の法人設立に至りました。
- ・現地調査の際、上記食中毒防止絵本を、タイ現地学校関係者の会議で先生達に披露したところ、ぜひ欲しいと好評だったため、今後のアジアでの衛生管理と栄養指導の知識普及に活用することとしました。

【山庄司代表のプロフィール】より

1975年 神戸大学大学院農学研究科修士課程修了、神戸学院大学栄養学部助手、1982年 農学博士授与、1983年 ドイツ・マックスプランク研究所栄養生理学部門研究員、1987年 キング醸造(株) 中央研究所 所長、1996年 神戸学院女子短期大学教授、2001年 (株)日研生物医学研究所顧問、2007年 静岡理科大学 物質生命科学科教授 を歴任

※1 2015年 12月 3日付WHOニュースリリース

【今後の展開】

- ・同法人は、まず、タイ・ミャンマー・バングラディッシュの新拠点で、環境衛生・栄養管理状態の現地調査実施
- ・その後、現地での衛生管理指導方針を決定、食中毒防止絵本を活用、衛生管理・栄養指導の知識を普及

特定非営利活動法人「食中毒からアジアの子供を守る会」

代表: 山庄司 志朗(やましようじ しろう)

Mobile: 090-5128-8607 FAX: 078-705-2740

Mail: syamashoji@gmail.com

住所: 655-0036神戸市垂水区海岸通9番50-514号

日の出医療福祉グループ

広報担当: 中島 史朗(なかしま しろう)

Mobile: 080-4779-7682 Mail: nakashima.sr@hinode.or.jp

Tel: 079-441-8423 Fax: 079-441-8523

〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家2333-2

代表者: 代表理事 大西社司

設立: 2016年7月

会員法人: 社会福祉法人 日の出福祉会、医療法人 社団奉志会、社会福祉法人 博愛福祉会

サービス: 介護、保育、医療

事業所数: 142カ所 職員数: 約2600人 (2019年11月)

お客様のよろこび 社員のよろこび 地域のよろこび

